

平成 26 年度第 2 回長野市歴史的風致維持向上協議会 会議記録（概要）

日時 平成27年 2 月26日（木）

午後3時30分～午後5時

場所 ふれあい福祉センター 4 階会議室

出席委員 9 名

赤羽委員、北村委員、笹澤委員、宮下委員、若麻績委員、中村委員、小野委員
（代理出席）、唐澤委員、藤沢委員

（6 名欠席 牛山委員、小林委員、梅干野委員、中島委員、極意委員、
根津委員）

1 開 会

定足数の確認

2 挨拶

北村会長

3 協議事項

(1) 長野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・進捗評価について

・説 明	事務局：資料 1 により「平成 26 年度長野市歴史的風致維持向上計画 進行管理・進捗評価シート(案) 暫定版」について説明
・意 見	松巖寺観音堂保全修理について修理工事が完成した。御礼申し上げる。今後は本堂だけではなく、この観音堂の公開についても十分していきたい。また、11 月 22 日の神城断層地震で鬼無里地区は大きな被害を受けた。松巖寺も大きな被害を受けた。修復の成った観音堂はしっかりした工事により被害は出なかった。しかし、同じ境内の市の指定文化財である経蔵は建物の壁がほとんど落ちてしまった。この経蔵についても、今後時機を見て修復をお願いしたい。 そのほか、白髯神社も鳥居に亀裂が入り、社標や常夜燈も倒れた。本殿は大きな被害が無かったが、神楽殿は一部で基石が外れてしまった。その他の神社でも被害が出ている。
・回 答	無里地区、大変な被害が出て、指定文化財のいくつかは修理が必要ということで相談を受けている。その辺具体的にどうして行くか、市としても必要な部分、主に「補助金」になると思うが、地元要望にできるだけ応えられるよう努力してまいりたい。

・意見	大室古墳群の道路の件、進入道路について新たに道路を建設するというルート案、概略図が出ている。新しく道路を造るとやはり慎重にやっ ていかないといけない、景観保持という問題が出てくる。これは大室古 墳に限らず全てそうだが、どうしたら景観を含めて大室古墳群を保全し ていけるのか、そうした点を配慮しながら事業を進めてほしい。
・回答	今年度概略設計でようやく具体的な作業に着手できた。ルート選定や 建設費用検討の基礎資料になるが、大室古墳関係では整備委員会も組織 されているのでそこで相談しながら詰めていきたい。

(2) 長野市歴史的風致維持向上計画の変更について

・説明	事務局：資料 2-1, 2-2 により「計画変更」について説明
・意見	質疑・意見なく、了承される。

(3) その他

・発言等なく、特になし

4 その他

今後の予定について

- ・長野市歴史的風致維持向上計画変更（案）は、本日出された意見・提案を踏まえ、
変更計画を決定し、国へ計画変更の認定申請を行う。
- ・次回の協議会は、来年度になるが、7月下旬頃と2月下旬の2回を予定している。
- ・前回の協議会で指摘いただいた本計画のPR不足については、この歴史的風致維
持向上計画を広く市民に周知し、歴史まちづくりを推進するため、平成27年10月
中旬ごろに「歴史まちづくりシンポジウム」の開催を予定している。

5 閉会

まちづくり推進課 上平次長